



準優勝のラウレFC



3位のFCセダック

山雅好機生かして栄冠

少年サッカー 市民タイムス・カガミ杯

市民タイムス創刊50周年記念の第36回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ

は3日、松本山雅FC U-11が2年ぶり4回目の優勝を飾り閉幕し、ち込んだ内藤鳳士郎が

試合結果

▽準々決勝

アンテロ 3-0 松本北
1ア塩尻

ラウレ 7-0 明善

松本山雅 9-0 筑摩野

セダック 2-1 山形

▽準決勝

ラウレ 2-0 アンテロ
1ア塩尻

松本山雅 1-0 セダック

▽3位決定戦

セダック 1-0 アンテロ
1ア塩尻

▽決勝

松本山雅 5-1 ラウレ



得点が決まり喜ぶ松本山雅の選手たち



激しく競り合う松本山雅とラウレの選手

た。

山雅は決勝の前半で4得点。開始直後に渡邊創太のゴールで先制した。5分にも、右サイドからゴール前を持ち込んだ内藤鳳士郎が

らのパスを渡邊が流し込んだ。PKで加点した後、14分には吉澤風河が決めた。初の決勝進出となったラウレは前半終了間際、フリーキックを上條蕾杜が好機を著実に生かし、

最優秀選手



よしざわ おうが 吉澤風河君(松本山雅)

⚽…タイミングの良い巧みなパスで攻撃を組み立てた吉澤風河選手(鳥立小学校5年生)。主将としても皆を引っ張った。「チームが一つになって盛り上がった」と決勝戦を振り返り、頂点に立てたことを喜んだ。

優秀選手



かみじょう らいと 上條蕾杜君(ラウレ)

⚽…体格を生かした守備と強烈なキック力が目を引く上條蕾杜選手(開明小学校5年生)。決勝ではフリーキックで得点し「最高にうれしかった」。優勝は逃したが「できることは発揮できた」と充実した表情を見せた。

序盤から優位に立った。山雅の恒本大輔監督は「皆の力で勝つことができて良かった。チーム一体となれた」と選手をたたえた。(土屋智彦)

サンプロアルウインのスタンドで行われた開会式。試合に臨む選手たちを激励